

資料提供年月日	平成29年10月11日	
問い合わせ先	課名	観光コンベンション推進課
	電話	直通 803-1333 内線 4530
担当者	職名・氏名	課長 芳原
	職名・氏名	課長代理 小川

広報連絡

<市長定例記者会見資料>

- 1 件 名 「持続可能な観光国際年」記念 国際観光シンポジウムの開催について
- 2 趣 旨 国連は、持続可能な観光が、開発に対して付加価値を与え貢献できることの啓発等を目的に、2017年を「持続可能な観光国際年」と決めました。これを踏まえ、同シンポジウムでは、岡山の誇る自然や文化を、環境保全をはじめとするESD活動等を通じて脈々と継承をしながら新たな文化を創造し、地域全体で活用していく、こうした岡山市の持続可能な観光開発の取組を発信するとともに、我が国及び世界各国の現状や先進事例について共有を図り、参加各国による観光政策の推進に結びつけていきます。
- 3 主 催 観光庁・岡山市
- 4 概 要 (1) 開催期日 平成29年10月16日(月)～17日(火)
(2) 場 所 岡山コンベンションセンター(岡山市北区駅元町14番1号)及び岡山市内(岡山城、岡山後樂園等)
(3) テーマ 「遺産、自然、そして人が関わりあう観光モデルに向けて」
(4) 内 容 別紙のとおり
- 5 取材について
 - ・全てのプログラムにおいてカメラ撮り・写真撮影が可能です。ただし、会議運営上、撮影位置を制限させて頂くことがあります。取材を希望される場合は別紙の「取材申込用紙」に必要事項を記入のうえ、10月13日(金)12時までにFAXでお申し込みください。
 - ・会場での取材・撮影に際しては係員の指示に従っていただきますようお願いいたします。
- 6 その他

岡山開催終了後、海外参加者等は三重県に移動し、10月17日(火)～19日(木)の日程で「観光業の持続可能な発展における女性の役割」をテーマに会議を開催します。
- 7 添付資料 観光庁プレスリリース

【岡山会議】

10月15日（日）

○岡山市主催歓迎レセプション

18:30- 岡山市主催歓迎レセプション（場所：岡山後楽園 鶴鳴館）

10月16日（月）

○テクニカルビジット I

9:00-11:30 セッション I・IIの予習のための市内視察

場所：岡山後楽園・岡山城

○「持続可能な観光国際年」記念 国際観光シンポジウム

13:00-13:10 オープニングセレモニー

- ・瓦林 康人 観光庁審議官
- ・大森 雅夫 岡山市長

13:15-14:10 基調講演 I コルドラ・ヴォルムター UNWTO 国際関係機関連携室 部長

「持続可能な観光開発の取組みと将来展望～歴史文化遺産と観光振興の調和～」

基調講演 II 大森 雅夫 岡山市長

「持続可能な観光開発に向けた岡山市の実践 ～城と庭、水と緑、そして人～」

14:10-15:30 セッション I 「歴史・文化遺産の活用と地域の活性化」

- ・歴史遺産・文化遺産をハード・ソフト両面から保存・活用し、人の賑わいの創出に取り組みまちづくり事例を紹介し、共有を図る。

【スピーカー】

- ・Chhay Sivlin カンボジア旅行業協会会長
- ・Alcinda Trawen パプアニューギニア観光局
- ・谷一 尚（一財）林原美術館館長
- ・那須 太郎 岡山芸術交流総合ディレクター、(株)TARO NASU 代表取締役、アート&パブリック(株) 代表取締役

【モデレーター】

- ・松村 智恵 (株)JTB 首都圏ロイヤルロード銀座 旅彩彩デスク専任コーディネーター

15:30-16:00 コーヒーブレイク

16:00-17:30 セッション II 「自然と市民との関わりによる持続可能な観光開発」

- ・地域住民と自然との関わりが安全や環境保全をもたらし、地域文化を育むとともに、観光資源としての魅力向上にも繋がっている事例を紹介し、共有を図る。

【スピーカー】

- ・ジョンビョンウン 順天郷大学観光経営学教授、韓国観光学会首席副会長
- ・前田 芳男 岡山大学地域総合研究センター教授
- ・重森 しおり 岡山市教育委員会指導課人権教育室副主査
- ・加藤 正禎 気仙沼商工会議所専務理事

【モデレーター】

- ・田瀬 和夫 国連フォーラム共同代表

※シンポジウム開催中、会場の岡山コンベンションセンター3階ホワイエで、シンポジウムに関連する事例を紹介するパネル展示を行います。

【展示団体】

- ・学校法人就実学園 就実中学校・高等学校
- ・岡山市立岡山後楽館高等学校
- ・岡山商工会議所・岡山河川事務所・岡山市

○観光庁主催レセプション

19:00- 観光庁主催レセプション（場所：岡山城天守閣）

10月17日（火）

○テクニカルビジットⅡ

9:00-11:30 セッションⅠ・Ⅱの復習のための市内視察

（コース1） 曹源寺

（コース2） 旭川カヌー体験、林原美術館、旧内山下小学校

13:00- 海外参加者及び観光庁関係者 三重県へ移動

【取材申込用紙】

申込先：086-803-1871 岡山市観光コンベンション推進課 小川 行き

「持続可能な観光国際年」記念 国際観光シンポジウムについて取材を申し込みます。

(申込期限：10月13日(金)12時必着)

会社名 _____

氏名 _____

連絡先 _____

○取材希望プログラム

日程	項目	取材希望 (希望する項目に○)
10月15日(日)	岡山市主催レセプション	
16日(月)	テクニカルビジットⅠ	
	シンポジウム	
	観光庁主催レセプション	
17日(火)	テクニカルビジットⅡ	

(注意事項)

会議運営上、撮影位置を制限させて頂く場合がございます。

会場での取材・撮影に際しては係員の指示に従っていただきますようお願いいたします。



国土交通省

観光庁

Japan Tourism Agency Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

平成 29 年 10 月 11 日
観 光 庁

「持続可能な観光国際年」記念国際観光シンポジウムを開催 ～持続可能な観光開発を通じた未来への貢献～

- 観光庁は、国連世界観光機関（UNWTO）と協力し、岡山市、三重県と共催で「持続可能な観光国際年」記念国際観光シンポジウムを、岡山市（10月15日～10月17日）、三重県鳥羽市（10月17日～10月19日）のそれぞれで開催します。両シンポジウムには、国内外の観光関係者含め、延べ約550名が参加予定です。
- 国連において、本年は「持続可能な観光国際年」と定められ、各国において観光の果たす役割やその重要性について理解を促進していくこととされています。これを踏まえ、今回の両シンポジウムでは、我が国及び世界各国の観光を取り巻く現状や先進事例について共有を図り、参加各国による観光政策の推進に結びつけていきます

今回のシンポジウムは、開催都市の観光特性に合わせてテーマを選定し、同一週に二カ所の会場で開催します。あわせて、各地の特性を生かした会場（ユニークベニュー）でのレセプションやテーマに関連する市内視察を実施します（詳細別紙参照）。

【岡山会議】（詳細別紙参照）

- テーマ：「遺産、自然、そして人が関わりあう観光モデルに向けて」
- 日 程：10月15日（日）～10月17日（火）
- 会 場：岡山コンベンションセンター及び岡山市内（岡山城、後樂園等）

【三重会議】（詳細別紙参照）

- テーマ：「観光業の持続可能な発展における女性の役割」
- 日 程：10月17日（火）～19日（木）
- 会 場：鳥羽国際ホテル及び鳥羽市内（ミキモト真珠島（海女実演）等）

（会場例）



岡山城



後樂園



海女実演



海の博物館

（出典：公式 HP）

【取材について】

- ・ カメラ撮り・写真撮影が可能ですので、取材を希望される場合は別紙の「取材申込用紙」に必要事項を記入の上、10月13日（金）12:00までにFAXでお申し込みください。
- ・ 本会議（レセプション・市内視察を含む）においてはフルオープンとしますが、会議運営上、撮影位置を制限させて頂くことがございます。
- ・ 会場での取材・撮影に際しては係員の指示に従っていただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

観光庁国際関係参事官室 青木、岡田、末広、豊永
代表：03-5253-8111 内線：27509、27505
直通：03-5253-8922
FAX：03-5253-1563